

令和7年7月11日

がまごおり公共建築学生チャレンジコンペ2025
審査委員特別賞受賞者様

がまごおり公共建築学生チャレンジコンペ実行委員会

令和7年7月5日（土曜日）に実施しました「がまごおり公共建築学生チャレンジコンペ2025」の一次審査において、審査委員特別賞の対象作品を審査委員が各1作品選定しましたので、作品に対する講評を示します。

記

【審査委員（高野洋平）特別賞】

受付番号	KT00023695
作品タイトル	めくる
提案者学校名	名古屋市立大学大学院
提案者氏名	山本明里、疋田結子
審査委員講評	既存トイレの基礎を場として残すことをきっかけに場所の記憶を過去から未来につないでいく時間軸の中での建築を考えていることに共感した。既存基礎と新しくつくる建物の関係性や未来に向けた展開がより明快に示されるとより良い提案になると感じた。

【審査委員（畝森泰行）特別賞】

受付番号	KT00004018
作品タイトル	波音から生まれる4つの広場
提案者学校名	京都工芸繊維大学
提案者氏名	織田奈々美、小早川瑛子、鈴木綾乃
審査委員講評	最初から作りたい建築があるのではなく、周辺から考え、そこから残ったものが建築になるという逆方向のプロセスが新鮮だった。自分の想像を超えた建築が生まれる可能性を感じつつ、それ故の複雑さをもう少し明快に伝えられると良かった。

【審査委員（中川エリカ）特別賞】

受付番号	KT00018407
作品タイトル	光の通る道
提案者学校名	愛知産業大学
提案者氏名	吉嶺唯菜、藤原寿寧、藤田真央
審査委員講評	トイレは四角いという先入観にとらわれずに、新しいトイレを作ろうとしているチャレンジが良い。配置計画についても、スロープ状の通路に沿うような形で公園の通路が一体的になっている姿も良い。丘の中で四つの棟が少しずつ高さを変えながら存在しているので、丘と一体的に見えるような各棟の高低が分かると、より良かった。